

令和6年度第3回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

日 時 令和7年3月10日（月）午前10時30分～

場 所 第二庁舎 801会議室

出席者 前田委員長、橋本副委員長、星野委員、多田委員、黒木委員、並木委員、川原委員、三浦生涯学習課長、内田図書館長、渡邊公民館長、平田指導室長、平岡児童青少年課長、伊藤コーディネーター、湧上コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター

欠席者 鈴木庶務課長、鈴木子育て支援課長、富沢コーディネーター、野口コーディネーター、高橋コーディネーター

傍聴者 1人

1 開 会

【前田委員長】皆さん、本日はお忙しい中、令和6年度第三回放課後子どもプラン運営委員会にご出席いただきありがとうございます。本日欠席のご連絡を頂いているのは子育て支援課長、社会教育委員の國分さん、小金井青少年健全育成6地区連絡会の高橋さん、第一小学校、富沢さん、第二小学校、野口さん、南小学校、高橋さんです。それでは、よろしくお願いいたします。

まず、事務局よりお願いいたします。

【事務局】皆さん、今日はありがとうございます。

最初に、配付物の確認をお願いします。1つ目に、第2回放課後子どもプラン運営委員会議事録があります。続きまして、小学校9校の3月における放課後子ども教室のチラシがあります。続きまして、3つ目に、各放課後子ども教室の紹介について配付させていただいております。4つ目につきまして、この後議題に上がるんですけれども、意見・提案シートの案を配付させていただきました。足りない資料等ありますでしょうか。

【森田コーディネーター】申し訳ありません。小学校の報告なんですけれども、二小さん、四小さん、前原小さん、緑小さんのがないような。

【事務局】すみません。

【吉田コーディネーター】それと、緑小のチラシが裏面だけしか刷られていないです。

【事務局】ちょっとお待ちください。

【事務局】ありがとうございます。

こちら、配付しているものは大丈夫みたいなので、申し訳ないんですが、コーディネーターさんにはまた新しいものをお渡しいたします。失礼しました。

ほかに足りないものとかはございますでしょうか。

2 議 事

(1) 第2回放課後子ども運営委員会議事録について

【前田委員長】 それでは、議事に移りたいと思います。まず議事の1番目、第2回放課後子ども運営委員会議事録について、事務局から報告を求めます。

【事務局】 では、今お話ししましたお手元に配付してあります議事録は、令和6年10月23日に行いました第2回放課後子どもプラン運営委員会の議事録となっております。修正がないかを確認いただき、もしありましたら令和7年3月18日までに事務局へ御連絡いただければと思います。なければそのまま、期日を過ぎたことをもって修正なしとみなさせていただきます。よろしくお願いいたします。

よろしくお願いします。

以上です。

【前田委員長】 ありがとうございます。

質問等ないようでしたら、このまま次に進みたいと思いますが、いかがでございましょうか。どうぞ。

【平岡児童青少年課長】 児童青少年課長です。

議事録の6ページ目に委員の名前が空欄になっているところがありますけれども、委員の方も、自分の発言かどうか判断ができないと思うので、確認するときに困惑されるかと思うので、事務局で整理されてから18日までとされたらよろしいかとお思います。

以上です。

【事務局】 分かりました。

【前田委員長】 そうですね。議事録の中に、委員のところに空白になっている箇所が何か所かございます。

【事務局】 分かりました。修正して早急にお送りいたします。

【前田委員長】 恐らく推測なんですけど、文字を起こしている関係で、どなたが発言したか分からなくなっている状況かと思われますので、議事録を御覧になられて、御自身が発言した記憶がある方がいらっしゃったら、今泉さんにお声かけいただくと話が早いかと思います。

(2) 令和6年度放課後子ども教室について

【前田委員長】 それでは、そのまま議事の2番目、令和6年度放課後子ども教室について、各小学校コーディネーターからの説明を求めます。

第一小学校、第二小学校がお休みです。第三小学校からお願いしてよろしいでしょうか。

【伊藤コーディネーター】失礼します。三小コーディネーターの伊藤といいます。

お手元の資料のとおりです。特に真ん中の活動紹介を細かく書いてみました。このように、ほかの学校といろいろと特色がある部分を書いたほうが皆さんに御理解いただけるかと思ひまして、このように書いてみました。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございます。四小さんおられますか。お願いします。

【渚上コーディネーター】四小のコーディネーターの渚上です。よろしくお願いいたしますします。

四小もお手元の資料のとおりです。年間と3月のチラシをお渡ししているかと思ひます。一昨年度から特に大きな混乱もなく活動できております。特徴としては、思ひのほか中学生のボランティア、小学生の高学年のボランティアがよく来てくれて、とても助かっています。その姿を見て、また次の学年のボランティアができていて、ボランティアカードが足りなくなる事態も起きているくらいなので、この流れは続けていきたいと思ひているところです。

令和7年度から、学童さんが、今、学校とは別の所にあるんですけれども、学校の中にお教室を借りてということになるので、2月末にお話合ひも一応したんですけれども、やっている中でまたいろいろなことが起きてくると思ひるので、協力をしながら、いろいろと解決しながらやってきたいと思ひているところです。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございます。それでは、東小さん、おられますか。本町さん、いらっしゃいますか。

【西田コーディネーター】前原が先です。

【前田委員長】ああ、前原が先ですか。ごめんなさい。

どうぞ。

【森田コーディネーター】前原小のコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

活動内容は記載のとおりになっております。活動紹介としては、こちらにも書いてあるんですけれども、前原の子どもたちは地域で見守るということをコンセプトに、多世代のスタッフが学童児童を含む100人から200人近い子どもたちを日々見守っています。現在、スタッフは19歳の学生の方から、20代の市内どこかのボランティアの方、前原小の卒業生、在校生保護者、卒業生保護者、在校生の祖母の方など70代まで約30名が登録しています。

週5日制で全日開催をしております。基本的には子どもの主体性・自主性、創造性を重んじた居場所として自由遊びを基本としています。水曜日には自由工作を行っています。材料はスタッフが集めた廃材を使っているので参加費無料ということで、どなたでもその日に参加したいと思ひた子が参加できるようにしています。

令和3年から地域未来塾が開始されまして、こちらでも中の居場所、外の場所ということで、連携して充実した居場所づくりが進められています。実は先日、生涯学習課長と児童青少年課長、前原小の地域未来塾のコーディネーターと一緒に話合いの場を設けていただきました。その中で、今後、教室不足が想定されるであろうという話が出たんですけれども、それは今年度も実は影響がありまして、前原小は非常に教室不足です。こちらで課題と書いてありますが、今年度4月、2月までの中止27回のうち、18回が空き教室不足のためでした。ほか2回は学校都合、7回は地域未来塾の開催日を雨天時はお休みををするとしていますので、7回は通常のお休みでしたが、27回のうち18回は空き教室不足というところで、予算が増加し、児童数の増加など喜ばしい反面、空き教室不足による事業の後退が懸念されましたが、今年度もですが、来年度以降もそうです。開催日の減少、天候に左右される不安定な運営による子どもやスタッフ離れ、学童保育所のライトユーザーの受皿としての機能不全なども心配されます。

また、居場所の確保については、市内小学校9校は同様の状況下にありますので、本事業の推進のためにも、1年生教室の利用を視野に入れるなど、運営委員会での検討とかじ取りをお願いしたいというのが前原小としてのお願いであります。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございました。

それでは本町小学校、お願いできますか。

【西田コーディネーター】本町小学校のコーディネーターの西田です。よろしくお願いします。

本町小学校の報告書を見ていただければと思います。開催日数は186日で、年間の予定回数を全て中止なく開催できました。参加人数は毎回、50人から90人ぐらいで、平均すると60人程度です。本町小は学童が離れているため、学童の児童はその日、学童をお休みして参加する形ですので、1日に数名の学童の児童の参加です。

活動場所は、室内教室が低学年算数教室を、放課後、利用させていただいておりまして、それ以外に校庭、体育館を使わせていただいています。基本は室内教育と校庭ですが、雨天時や高温時は体育館を使います。また、室内教室も、保護者会などで非常に混雑する場合は、学校の御配慮で、図書室や家庭科室も使わせていただくことがあります。

開催日は月曜から金曜までの週5日、全て開催しています。低学年が4時間授業のときは1時から早く開催して、一旦帰って再登校しなくてもいいようにしています。

内容としましては、室内教室、校庭とも遊具を準備して、自由遊びで過ごしています。

トピックスとしましては、近隣に学芸大学がありますので、地域未来塾でも学芸大

生がたくさん協力してくれていますが、放課後子ども教室でも、校庭で遊んだり、宿題を教えてくれたりということで、学芸大学との連携が密になっています。また、本町小のOBの大学生も、夏休みや春休みにサポーターとして協力してくれています。3月もたくさんの大学生が参加して、子どもたちと共に放課後を過ごしています。現在、サポーターは23名で、保護者のOBや現保護者が主体となって活動をしています。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございました。

それでは、緑小学校お願いできますか。

【吉田コーディネーター】緑小は、活動紹介とみどりのほうかご3月というチラシを御覧いただければと思います。

緑小は、月曜日から金曜日、校庭と室内を同時開催していますので、雨などのときは中止はありません。なので、校庭が使えないときは室内の教室で活動したり、もしくは体育館に移動して活動をしています。本年度もいろいろなところが中心になって進めることができました。

大きな特徴としては、参加人数がとても多いです。一日平均140人、多くて200人超えをするときもあります。学童さんが平均五、六十参加するので、学童さんじゃない子どもたちの参加が多いのが特徴です。学童さんの参加の方法としましては、放課後に来て学童に遅刻して行くというパターンが1つと、学童を休んで放課後に参加する、この2つになっています。以前は行ったり来たりもしていたんですけども、児童の所在確認が物すごく煩雑になってしまって、毎回、毎回電話で来ていますか、来ていませんかみたいになってしまうので、今はこの2つの選択肢で子どもたちはうまく利用しているようです。

あとは御覧のとおりです。

あとは、すみません、室内なんですけれども、部屋が完全に確保されているかというところではなくて、例えば、問題はやはり1年生、2年生が4時間、5時間のときに、ほかの学年は授業があるので部屋が空いていません。なので、例えばやり方としては、低学年算数教室で45分を過ごし、放課後になったらみんなランドセルを持ってぞろぞろと移動して、図書室にまた部屋を移すという形を取っています。子どもたちもそれは慣れてきたんですけども、いかんせん緑小の図書室が4階ですので、2階から4階に上がったとか、1階の算数教室からまた4階に上がったとか、子どもたちにとっては不便をかけますけれども、そうやって何とか空き教室を利用させていただいている状況です。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございます。

本日御出席のコーディネーターの皆様、ありがとうございました。欠席されているところの御報告については、事務局からお願いいたします。

【事務局】では、こちらの報告書の第一小学校からお話しさせていただきます。

第一小学校の活動場所は主に学校内でやっておりまして、主な活動場所として第一小学校校庭、体育館、算数教室、ミーティングルーム、図書館を使わせてもらっています。開催日数は年間161日、参加人数が1日平均93人程度とのことです。令和6年度、一小の放課後子ども教室は、月、火、木が校庭開放、水、金が体育館開放を基本として開催をしておりました。全学年の4時間授業の日に限り、4時間授業後に再登校なしで参加できるように繰上げ開催も行っているとのことです。

放課後の居場所を提供する自由遊び中心ですが、不定期で企画ものの教室も開催したとのことです。企画ものの教室は、以前から放課後子ども教室に御協力いただいている地域の方や学生サークルによるもので、工作、手芸、集団遊びがありました。また一小では、4年生以上のジュニアスタッフ制度を実施しており、ジュニアスタッフによるイベントの開催もありました。子どもたちで会議を行い、自分たちが考えたイベントの企画や準備をし、実施したとのことです。

学童とは避難訓練と一緒に実施するなど、連携協力を行っているとのことです。

コーディネーターは一小保護者のOG、PTA役員経験者の方、放課後子どもサポーターは保護者や地域の方が担っていて、配置人数は1回に当たり5名から6名とのことです。

続きまして、第二小学校です。第二小学校の主な活動場所は、多目的ルーム、体育館、校庭と中庭となっております。開催日数は年間で187日、3月の見込みも含んでおります。参加人数平均が79.3人とのことです。

月曜日から金曜日まで室内自由遊び及び校庭遊び、水曜日と金曜日は学習アドバイザーの指導の下、工作や手芸、書道、運動などの体験教室を実施しております。児童が主体的に過ごせる居場所として、校庭遊び、室内遊びともに自由遊びを基本として行っております。

活動当初から学童保育所と連携しており、いつでも自由に学童から参加できる週2回の体験教室には、学童保育所の児童も参加しているとのことです。2022年より大学生のスタッフも活動に関わり、運動量の多い活動や遊びを盛んに行っております。

図書館団体利用を活用し、スタッフが厳選した本を1か月ごとに入替え設置をしております。また、定期的におはなし会を実施し、本に関連した活動につなげております。

保護者は、学校との連携はホームページを通して行っているとのことです。

コーディネーター、安全管理員は、地域の方や保護者の方が行っており、通常開催時は、配置人数5名、体験教室の実施時には6名を配置しております。

続きまして、東小学校です。東小学校の主な活動場所は校庭と体育館でございます。

開催日数は、3月分を見込んで年間180日です。参加人数の1日平均は104人となっております。令和6年度の主な活動として、放課後の校庭開放を月曜日から金曜日まで行っております。雨天時は学童と体育館を半面ずつ使用、開放をしているとのことです。

対象児童は全学年で、6時間授業の児童はそのまま参加、そのほかの児童は再登校として参加しているとのことです。子どもたちは校庭で、学童児童とともに一緒に遊んでおります。東小学校は学童と一体型の連携を取っているため、校庭では全ての児童を丸ごと見守りしております。学童スタッフの方々とともに見守りの中、危険箇所などの情報を共有したり、雨天時の体育館使用を確認したり等、協力を行っております。

また、プログラム活動として、東小おやじの会の方と親子で参加できるイベント、例えば、夏休みの水鉄砲大会、新聞紙チャンバラ、音と光の不思議体験などを行っており、ちＱ人さんとは、留学生との国際交流イベントも行っております。

コーディネーター、サポーターに関してなんですけれども、PTA役員、保護者、OGや大学生などがコーディネーター、サポーターとしてやっていただいております。校庭開放時は4名から5名の配置、プログラム活動が行われる場合は、学習アドバイザーを1名プラスした3から5名で行っております。

最後に南小学校です。南小学校に関しまして、主な活動場所は校庭、体育館、低学年少年人数教室などを使っております。3月分見込みを含みまして、年間182日、開催しております。1日の平均参加人数は22人程度です。

毎月発行するお知らせで各教室の予定を告知しており、希望者は保護者の同意があれば、帰宅をしないでそのまま参加ができるとのことです。わくわく教室として、月曜日または水曜日に開催をしており、学習アドバイザーや保護者、地域の方の協力の下、陶芸、クラフト工作、手芸などのアイデア盛りだくさんの教室を開催しております。また、東京都の専門人材を活用した活動プログラムの充実事業を利用し、科学実験教室、お茶体験教室、和太鼓教室を実施いたしました。

室内あそびは、月曜日または水曜日に開催しており、宿題や読書、ボードゲーム、リサイクル品などを使った工作を作ったりして、自由に過ごすことができるようにしております。定員等は設けずに開催しているとのことです。

また、火・木・金は校庭あそびとしまして、遊具などを使って自由に遊べます。放課後までの時間は室内あそびも実施しております。雨天時などで中止にならないように、体育館あそびや室内あそびに変更できるように設定をしております。体育館や校庭の使用については、学童保育所との連携、連絡を取り、いろいろな面で連絡、協力をしているとのことです。

以上になります。

【前田委員長】ありがとうございました。

それでは、皆様にお伺いします。質問等、何かありましたらお願いいたします。

【渡邊公民館長】公民館長です。

報告なんですけれども、2月25日に緑小コーディネーターの吉田さんと、私と、地域コーディネーターのヤギさん、それから公民館緑分館の職員のイトウさんと4名で少しお話をさせていただく機会を持ってもらいました。

中身としましては、今年度、公民館緑分館が業務委託をしております、受託者のほうで学校との連携をいろいろと模索している状況で、何かお手伝いできることですか、どういった連携ができるのかというのを少し御相談させていただきました。その中で出された意見としては、様々なボランティアの方に入ってもらっているんですけれども、そういったボランティアを養成するような講座を公民館でできないかという御要望をいただいております、来年度できるかどうか分からないんですけれども、少し何かしら連携が進むように我々も取り組んでいきたいと思っております。

それから、緑分館、放課後子どもとは、学校との連携という部分なんですけれども、例えばなんですけれども、公民館緑分館の中に生徒たちがつくったポスターを展示するとか、そういった形で何かしら公民館と学校との連携を進めていけばいいねというような話を少しさせていただいて、次年度以降少しずつできるところから連携を進めていきたいというようなお話をさせていただきましたので御報告させていただきました。

【前田委員長】ありがとうございました。ほか何かございますでしょうか。

それでは、ないようですので、ちょっと進めます。

総括として、実行委員長より発言を求めたいと思います。よろしくをお願いいたします。

【森田コーディネーター】よろしくお願いいたします。

実行委員会からのお願いということで、今年度話し合ってきたことについて、2点御報告申し上げたいと思います。

1つには、小金井市新・放課後子ども総合プラン協議会というのがあるんですけれども、そちらの協議会のほうが今年度開催されなかった学校が幾つかありまして、できれば最低年1回は開催していただきたいなとお願いするところです。

こちらのほうに、一応、年に数回、皆さんの報告のほうにもあると思うんですけれども、協議会のほうでも、こちらの運営について話し合いをしているという記載もありますので、こちらもぜひ来年度以降よろしくお願いいたします。

あと、もう一つ、こちらのほうは、実行委員長として、担当課と、あと統括地域コーディネーターのほうに御相談させていただいたことなんですけれども、各学校の協

議会の場に、中学校を入れて、せっかく 14 校コミュニティースクール化しましたし、あと、地域未来塾も順次始まっています。子どもの放課後の居場所について検討するという大きな議題があると思いますので、一応、放課後子どもプランのほうの協議会の構成員というのは、教職員、学童保育、施設指導員、放課後子ども教室関係者、児童青少年課職員、生涯学習課職員となっているんですけども、こちらのほうに、その学校の地域コーディネーターや未来塾のコーディネーター、また統括コーディネーターのほうの出席についてもお声かけをし、構成員にはなっていないんですけども、一緒に情報共有、相談の場にさせていただけると大変ありがたいなと思っています。

地域コーディネーターの連絡会とかあるんですけども、そちらのほうも年に一、二回開催ということで、なかなかその 2 回で地域コーディネーターの全体的な情報共有、あと地域未来塾の全体的な情報共有とか相談、連絡、交流の場とはなっているんですけども、各学校において同じ目的の下、情報共有の場が、この協議会を利用してできるというのではないかとこのところでの提案であります。

こちらのほうは要望がありますので、正式な構成員としてではなくても声かけをするという考え方と、あともう一つは要綱のほうの見直しも可能なのであれば、そちらも順次取りかかっていたいただくと大変助かりますというところでお願いします。

あともう一つは、先ほど前原小のところでも触れたんですけども、居場所の確保です。この後一小さんでも学校の増改築が始まります。開催する場所探し、確保が大変になっていますし、三小さんのほうにも書いてあります、やはり放課後の居場所の確保が大変厳しい。

あと、先ほど緑小さんの話でも出ましたが、1 日を通して同じ場所で開催できているわけではない。子どもたちがあっちの部屋、こっちの部屋と移動して、場所を確保しているということが生じています。前原小に関しても、基本が校庭遊びなので、例えば雨天でありましたというときに、学校にその都度その都度居場所があるのかどうか、空いている教室があるのかどうか、その確認をしないといけない状況なんですね。要するに毎日毎日学校と打合せが必要になってきてしまうということがありますので、できれば通して、この場所、この部屋という確保ができると安定した運営ができるのではないかと考えています。それもあって、居場所の確保については 1 年生教室の利用も視野に入れるなど、こちら運営委員会での検討と、またやり取りもお願いしたいと思っています。

来年度以降、多目的教室が普通教室になる学校も増えています。また学童さんの学校の教室利用も多分増えることが予想されています。そのような中で放課後子ども教室として安定的継続をしていくためには、普通教室で一番早く空く 1 年生の教室の利用をお願いしたいというところです。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございました。何か質問等ございますでしょうか。

それでは、ないようですので先に進めたいと思います。

(3) 意見・提案シートの導入について

【前田委員長】それでは、議事の3番目、意見・提案シートの導入について、事務局から報告を求めます。

【事務局】皆様のお手元に意見・提案シートという名目の紙が配られているかと思います。

こちらなんですけれども、広く意見・提案をいただき、今後の運営委員会のさらなる発展等に寄与できればと考えております。

なお、こちらの意見・提案シートなんですけれども、苦情、要望ではなく、あくまで建設的先を見据えた、よりよくなるような御提案をというところを踏まえまして、今後、こちらの紙を導入できればと思って、本日議題に上げさせていただきました。

よろしければ、お諮りいただければと思うんですけれども、何か御質問等あったりいたしますでしょうか。

【前田委員長】お手元の資料に意見・提案シートというのが入っているかと思います。

【川原委員】川原です。今まで、いろんなこういう運営委員会とかで傍聴の方が意見・提案シートとかを出していると思うんですけれども、この会議体には今まででこういう存在がなかったということでしょうか。

【事務局】そうですね。今までなかったもので、今後ほかの委員会とか審議会とかを見習って入れていくのはいかがでしょうかということで、本日提案させていただいたんですけれども。

【川原委員】分かりました。ありがとうございます。

【前田委員長】それでは、委員の皆様にお諮り申し上げます。この意見・提案シートにつきまして、異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【前田委員長】それでは、導入ということで、よろしくお願いいたします。

(4) 令和5年度放課後子ども教室報告書について

【前田委員長】続きまして、議事の4番目、令和5年度放課後子ども教室報告書について、事務局から報告を求めます。

【事務局】令和5年度放課後子ども教室の報告書について、前回、第2回の放課後子どもプラン運営委員会の際に、令和7年度から必要部数の印刷を行い、PDFをホームページに掲載することで周知をするところではあるんですけれども、昨今の価格高騰などにより紙等が値上がりをしてしまっておりまして、予算内での作成が非常に困難でありまして、そのため、大変申し訳ないんですけれども、今回の令

和 5 年度の報告書より必要部数を印刷で行って、P D F でデータの周知とさせていた
だければと思うんですが。

【前田委員長】 6 だよな。

【事務局】 失礼しました。令和 6 年度の報告書。

【前田委員長】 そうだよな。

【事務局】 はい。の必要部数を行いという形で諮ったんですけれども、令和 5 年度の報告
書から、今、令和 4 年度の報告書が一番最新なんですけれども、今、令和 5 年度のもの
をつくっていて、いつも 1 年ずれで作成しているので。それで、令和 5 年度のもの
からずれて印刷を行って、P D F データでの周知とさせていただければと思うんです
けれども、いかがでしょうか。

【前田委員長】 従前からお願いをしていた印刷所が廃業なされるとか、そういったケースで
ございまして、資材の高騰と、あとやっていただけたところがなくなったということ
で、今後の報告書については、P D F で御報告申し上げるという形に変更したいとい
う事務局のお話でございます。

問題がなければ、このまま P D F での報告ということでよろしいでしょうか。何か
異議ございますでしょうか。印刷物が必要な場合は事務局のほうに問合せいただけれ
ば、その場で印刷するなりそういった対応で、手渡しでのお渡しも可能ということ
を伺っております。

前回の委員会だと、副委員長からの質問で、来年度、次年度から導入するというお
話だったんですけれども、今回また状況が変わりまして、業者さんが多分やっていた
だけない、廃業されてしまったと。新しいところを探す、また、その範囲でも金額の
折り合いがつかないという状況で、苦肉の策というか、これしかないだろうというこ
とで、P D F の報告とさせていただきたいということでございます。

特に何か質問等ございますでしょうか。

3 その他

(1) 各委員より意見等

【前田委員長】 特になければ、最後、事務局から何かございましたらお願いいたします。

【事務局】 最後になります。

再度御連絡なんですけれども、先ほど私のところで空欄があったというところなん
ですけれども、その部分を訂正しまして、早急に皆様に配付をして、修正等がなけれ
ば、3 月 1 8 日をもって第 2 回の議事録のアップロードにしていこうと思っております
のでよろしくお願いします。

メールアドレス等をこちらにいただいている方に関しては、メールアドレス先に送
らせていただこうと思います。こちらがメールを知らない場合は郵送で送らせていた

だこうと思いますので、その際はよろしくお願いいたします。

以上になります。

【前田委員長】ありがとうございます。

それでは、令和6年度第3回運営委員会、これで終わりなのですが、令和6年最後になりますので、副委員長、一言よろしければ。

【橋本副委員長】それぞれコーディネーターの労によって無事1年が終わりましたけれども、また、今出されましたように反省事項、課題もたくさんありますけれども、一つ一つ解決しながら、さらに充実した活動ができればと思いますので、続いて御協力よろしくお願いいたします。

【事務局】ありがとうございます。

【前田委員長】1年間委員長を務めさせていただきました。至らぬ点、多々あったと思います。議事の進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。

これにて第3回の運営委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

【平岡児童青少年課長】すいません、2番のその他ってないんですけど。その他の各委員の意見等と次第には書いてあるんですが、それは……。

【前田委員長】最後、お諮りしたんですけれども、何かございますか。

【平岡児童青少年課長】すいません、学童のほうから発表させていただいてもいいですか、申し訳ありません。

【前田委員長】どうぞ。

【平岡児童青少年課長】ありがとうございます。

先ほど各校のコーディネーター様のほうから御報告がありましたとおり、令和7年度に関しましては、まずは第四小学校のさわらび学童保育所につきましては、会議室をお借りして、第3学童を開くことになりました。皆様の御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。また細かい調整等は別途させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、まえはら学童につきましては、令和7年度から新しい事業者である日本保育サービスさんというところに事業者が変わることになりました。こちらにつきましては、12月から順次引継ぎ等はさせていただいておりまして、4月1日から事業者が変わります。先ほどコーディネーターさんのほうから御報告がありましたとおり、現在、学校統合、新年度に向けて教室の手配等を様々されているところでございまして、前原小学校も含めて御調整をさせていただいているという状況でございます。

続きまして、みどり学童についてでございます。みどり学童につきましては、みどり児童館の活動室、大体約50平米のところなんですけれども、そちらを今第2学童支所として、みどり学童につきましては、来年度15名程度増える可能性もございしますので、定員25名というところで、学童の場所として日中は使わせていただくとい

うところで今調整をしています。

コーディネーターさんのほうからも、放課後の子どもの居場所というところで場所の確保になかなか苦慮されているというお話がございましたけれども、今後3月25日に行われます総合教育会議におきまして、学童保育所の大規模化につきましては、こちら市長、教育長も入っている会議でございますので、委員の皆様にも状況等を御説明しながら、学童の大規模化の抜本的な対応というところで進めてまいりたいと考えております。

お時間をいただきまして、ありがとうございました。以上でございます。

【前田委員長】ありがとうございます。

【三浦生涯学習課長】今の発言は議題の2の発言という整理ですか。

【前田委員長】そうですね、その他の整理になります。

【平岡児童青少年課長】その他の整理ですね。

【前田委員長】今のお話について御質問等ございますか。

どうぞ。

【森田コーディネーター】すいません、実行委員長としてなんですけれども、3月25日の会議の場でいろいろ発表されることもあるかと思います。その場の中に、放課後子ども教室の居場所については議題にはならないと思うんですけれども、そこに合わせて、一緒というか、同時進行というか、そういうことで考えていただけると大変ありがたいなと思っています。それは小金井市に対してなんですけれども、この運営委員会の場でも、来年度以降どうやって居場所の確保をしていくとかということを議題の一つとして、この場に上げていただけたらと本当にそれはと思っています。

学童保育所の子どもたちの人数が増えたということ、あと、放課後子ども教室の参加の子どもたちの人数が増えているということ、これは本当にありがたい、喜ばしいことなんですね。なので、せっかく子どもたちが増えたところで、子どもたちの居場所の確保を、学童保育所も放課後子ども教室も地域未来塾も、きちんと乗り遅れることなく子どもたちの居場所を来年度1年かけてきちんと確保していけたらと思っています。それはコーディネーターが1人でできることではありませんので、ぜひ小金井市の取組として御協力よろしくお願ひしたいと思っています。

以上です。

【前田委員長】ありがとうございました。

4 閉 会

【前田委員長】ほかよろしいでしょうか。

それでは、改めて第3回の運営委員会を締めたいと思います。ありがとうございました。

— 了 —